

食

育

だ

よ

り

子どもたちの味覚が発達し、自分の外の世界に興味を持って新しいことを次々に発見する幼児期は、「食育」にとって非常に大切な時期です。子ども園では、「食育」に力を入れた活動を長年行っていますが、今年度よりさらに「食探究」に力を入れ、日常の生活でもっと「食」が身近になり、興味関心をもってもらえる活動を増やしてまいります。「食育だより」では、毎月行った「食」の活動について報告していきます。

味噌仕込み (年長、年中)



給食で使う味噌は自分たちで作る！今年の大きな目標です。

かつおぶしけずり (年長、年中)



「かつおぶしってかたいね。でも、とってもいいかおり」

いちごの苗 (年少)



年少さんは、いちごの苗を育てています。「いっぱいおれたら、ジャムを作ろうね」

田植え (年長)



年長さんたちは、バケツ稲にチャレンジ。お米がたくさんできるといいね。

このほかに、年中さんはラディッシュを植えて自分たちで仕込んだお味噌で食べたり、年少さんはゴーヤの苗を植えたり、2歳児さんは、じゃがいもの苗や赤じその苗を植えたりしました。

皆さん、はじめまして。4月から週に1回、子ども園の食育活動を担当させていただくことになりましたフードエデュケーションデザイナーの戸叶（とかの）綾子と申します。通常は新渡戸文化高等学校のフードデザインコースを担当しています。子どもたちの素直でまっすぐな感性は本当に素晴らしいものです。ご家庭でも「今日は何を作ったの?」「育てているお野菜はどうなった?」と、是非声をかけてください。ご家族との会話を通じて、食への関心はさらに高まります。私も子どもたちと一緒に「食探究」を楽しみたいと思っています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

